

LP協会保安第23～54号
平成23年11月16日

都道府県協会 御中
企業会員 各位

(社)エルピーガス協会

東日本大震災の被災地における冬期の事故防止に関する注意喚起について
(お願い)

標記につきまして、経産省原子力安全・保安院より別添のとおり、東日本大震災及びその余震等の影響により、配管の損傷等の不具合によるガス漏えい事故につながる恐れがあること、また、仮設住宅等においては、ガスの消費設備の使用等に慣れていないお客様がいること、さらに寒さにより換気(給気及び排気)が不十分になる可能性があることなどからCO中毒事故の発生が懸念されることから注意喚起を行うよう要請がありました。

つきましては、貴協会におかれては会員に対し、また、企業会員におかれては関係者に対し、別添の下記事項について注意喚起をしていただくとともに、同院ホームページのチラシ等を活用し、ガスを使用しているお客様に対して周知徹底方よろしくお願いいたします。

以上
発信手段：メール
保安部：渡辺、瀬谷

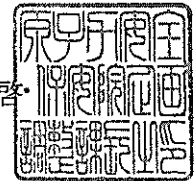
別 添

経済産業省

23原企課第94号
平成23年11月4日

社団法人エルピーガス協会
会長 川本 宜彦 殿

経済産業省原子力安全・保安院企画調整課長 片山 啓



経済産業省原子力安全・保安院ガス安全課長 吉村 忠幸
NISA-245b-11-5

経済産業省原子力安全・保安院液化石油ガス保安課長 福田 敦史
NISA-278b-11-7

東日本大震災の被災地における冬期の事故防止に関する注意喚起について（要請）

上記の件について、原子力安全・保安院は、別添（NISA-245b-11-5、NISA-278b-11-7）のとおり周知することとしました。

つきましては、貴団体におかれては、会員に対して、別添の内容を周知するよう要請します。

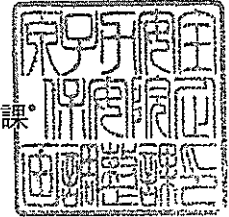


経済産業省

23原企課第94号

平成23年11月4日

東日本大震災の被災地における冬期の事故防止に関する注意喚起について（要請）



経済産業省原子力安全・保安院企画調整課

経済産業省原子力安全・保安院ガス安全課

NISA-245b-11-5

経済産業省原子力安全・保安院液化石油ガス保安課

NISA-278b-11-7

ガスの使用量が増える冬期において、東日本大震災の被災地では、東北地方太平洋沖地震及びその余震等の影響により、配管の損傷等の不具合が想定され、ガスの漏えい事故につながる可能性もあります。

また、被災地の仮設住宅等においては、ガスの消費設備の使用に慣れていない一般消費者がいる可能性があること、一般消費者にとって不慣れなガスの消費設備が設置されている可能性があること、寒さから換気（給気及び排気）が不十分になる可能性があること等から一酸化炭素（以下「CO」という。）中毒事故の発生も懸念されます。

つきましては、ガスによる事故を防止するため、傘下の都市ガス事業者、液化石油ガス販売事業者及び保安機関に対して、下記の事項について、注意喚起を行うよう要請します。

なお、原子力安全・保安院では、ガスの使用に伴う一般消費者等の事故を防止する観点から、原子力安全・保安院のホームページにチラシ等を掲載しています。ガスを使用している一般消費者等だけでなく、都市ガス事業者、液化石油ガス販売事業者及び保安機関が実施する保安周知活動にも活用下さい。

●都市ガス向け（ガスの安全見直し隊）

<http://www.nisa.meti.go.jp/sangyo/citygas/aikotobademinaoshitai/index.html>

●液化石油ガス向け

<http://www.nisa.meti.go.jp/sangyo/lpgas/detail/oshirase.html>

記

1. 被災地の一般消費者等が使用する供給設備の点検、消費設備の調査等の保安業務を確実にを行う

こと。

2. 以下の内容について、被災地の一般消費者等に対して十分に注意喚起を行うこと。

(1) ガスの漏えい事故対策

- ①ガスの臭いを感じたら、直ちに緊急連絡先（都市ガス事業者、液化石油ガス販売事業者又は保安機関）へ連絡すること。
- ②ガスの消費設備を使用した際、異常を感じた場合は使用を中止し、速やかに器具メーカー、都市ガス事業者又は液化石油ガス販売事業者に連絡すること。
- ③ガス漏れの発生を素早く認知するには、ガス警報器の設置が効果的であること。なお、ガス警報器は、常に電源コンセントに接続しておくこと。

(2) CO中毒事故対策

- ①ガスの消費設備の使用中は必ず換気（給気及び排気）を行うこと。
- ②ガスの消費設備及び換気設備は、日頃から点検を行うこと。特に、地震後は消費設備や換気設備に異常がないことを確認すること。
- ③万一の不完全燃焼に備えて、CO警報器を設置することが望ましいこと。なお、CO警報器は、常に電源コンセントに接続しておくこと。